

令和 6 年度

学校関係者評価報告書

令和 7 年 3 月

山梨県立宝石美術専門学校

令和6年度 学校関係者評価報告書

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長、保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価の結果に関する評価を行い、多くの貴重な御意見等をいただきました。

今後とも、学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、本校教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでく所存です。

1 学校関係者評価委員名

柳本	力	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	理事長	
深澤	陽一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員長
後藤	晃一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
詫間	康二	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
鈴木	竜樹	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
井口	泰宏	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
今澤	賢一	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
小池	浄	氏	協同組合山梨県ジュエリー協会	人材育成委員会	委員
花田	智	氏	甲府商工会議所	事務局長	
田代	剛久	氏	山梨県立甲府城西高等学校	校長	
石原	基平	氏	保護者（後援会会長）		
三科吾諭子	氏		山梨県産業政策部産業振興課	課長	

2 評価委員会の実施

開催日 令和7年2月21日（金）

場 所 宝石美術専門学校 8F 多目的教室

3 実施方法及び公表

評価委員会では、学校が実施した「自己評価」の結果及び活動状況、アンケート結果について事務局から説明。

その後、委員の皆様には、基準項目毎に次の４段階で評価をいただき、その平均値を記載。

４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

なお、評価の観点は次の項目によるものとしました。

- ・ 自己評価の内容が適切か
- ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策などが適切か
- ・ 学校の重点目標や具体的方策などが適切か
- ・ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

これらを本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かして本校教育水準の向上に努め、またホームページ等に公表します。

4 学校関係者意見・提案等

【1. 教育理念等】

評価平均：3.8

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○教育理念、教育目標、教育方針は定められており、学生便覧、ホームページ等で公開し、周知を図っている。また、教職員に教育理念等は共有、徹底されている。 ○開校以来、より充実した教育内容を目指すと共に将来の方向を考慮した学校改革を行い、「専門知識・技術の高度化」や「国際化への対応」などを目指し取り組んでいるが、加速する少子化、これに伴う入学定員の確保などを踏まえ、引き続き本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、反映していきたい。 ○学則等は整備されており、改正が必要な場合にはその都度行うこととしている。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○ジュエリー業界は、ECサイトやフリマサイトの台頭、海外ブランドとの競合、物価高騰など、めまぐるしく変化していた、業界のニーズを的確に把握するのは難しいと推察しますが、業界との関係を一層密にしながら、教育活動に反映していったほしいと思います。

【2. 学校運営】

評価平均：3.5

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○教育活動等に関する情報は、ホームページやInstagramでの発信等で積極的に公開している。 ○危機管理マニュアル及び防災計画を更新、体制を整えるとともに、毎年度初めに防災訓練を実施し、学生への避難経路の周知及び防災意識の高揚に努めている。また消防法に規定する必要な設備を整えており、定期点検も実施している。 さらに、防犯カメラ3台設置、出入り口のオートロック化、警察官立ち寄り所の認定、防犯講座の開催などの取組みを行っている。 ○ホームページについては昨年度改修し、スマホ対応となり、掲載内容について更新を行った。 ○職場研修等を実施するなどして職員意識を醸成し、体制の整備を図っている。 ○教育理念等に沿った学校の取り組み方針は共有されている。 ○週1回行われる学科会議において議題として取り上げ、組織的な意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している。 ○情報システムを導入し業務の効率化が図られている。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○組織的な意思決定のあり方について更なる工夫が必要と感じます。

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○教育理念等に沿ったカリキュラムを策定し、必要な学習時間を確保するとともに、シラバスに目標、内容を明示している。 ○カリキュラム編成時に、教育到達レベル確保のための学習時間を設定している。 ○学生が就職を希望する職種（業務）に向けて、高度な技能の習得が可能となるよう選択科目を設置、高度な技術を有する外部講師を招聘し指導を充実させている。 ○企業研究の一環としてインターンシップは業界と連携して実施している。 今年度は受け入れ企業を増やすことができた。 ○教員はシラバスに基づき授業を実施している。 ○教育の目標実現のため十分な要件を備えた教員を確保している。 ○高度な技術を有する職人を非常勤講師として招聘し、産地の特質を生かした指導を充実させている。 ○グローバル化に対応するカリキュラムを設定・実施している。 ○（YJM は、）昨年度、開館 10 周年、入場者 20 万人を達成するなど本県ジュエリー産地の発信拠点となっている。 ○（成績）基準は規程等に定めており、それに基づいて職員会議で判定を行っている。 ○市場や業界の状況を勘案し、毎年度カリキュラムの作成、見直しを実施している。 ○自己研鑽だけでなく多様な研修等を受講し、能力向上に努めている。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○委員会の中で報告された評価結果を見ると、地域が欲しい人材育成が行われていると感じた。 ○一部グローバル化など低い部分もあったが、大学でなく専門学校であるので、評価の高い部分を伸ばす尖った教育を目指しても良いかと思う。 ○ 高度な技術を有する職人の指導を受けられることは、学生にとって大変有益だと感じます。今後はグローバル化に対応したカリキュラムについての検討も必要と思います。 ○グローバル化については海外で活躍している卒業生を探してみてもいいかでしょうか。

【4. 学習成果】

評価平均：3.4

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○学生に業界への就職を働き掛けると共に、学校において企業説明会の開催、ジュエリー協会青年部との交流会などを実施し、関係業界への就職率の向上に務めている。 ○検定、試験等の合格率の向上のため担当教員が連携して組織的な指導体制を組んでおり、毎年一定の合格者を出しているが、今後も合格率向上に努めていきたい。特に技能五輪全国大会では昨年に続き、本年度も銀メダルを獲得するなど成果が現れた ○休学者等は、体調不良や成績不振、また退学者は体調不良や進路変更などが要因となっており、各担任及び事務局が個別にきめ細やかな対応をするとともに、教職員間で情報共有し、未然防止に努めている。 ○昨年度、ジュエリー協会協力頂き、卒業生の在籍調査を行った。今後の教育活動の改善に活かしていきたい。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○社会全体に就職率は向上しているが、就職後の定着率が低下傾向にある。卒業生を対象とした調査を定期的に行い、要因調査をすることにより、企業側の体質改善につながる。 ○昨年に続き、技能五輪全国大会で銀メダルは素晴らしい成果だと思います。 ○山梨県のジュエリー産業発展のため、学生を業界へ送り出すこと使命であると考えるのであれば、関係業界への就職率の向上が求められると感じます。 ○県立の専門学校としてまずは県内の宝飾業者に卒業生を斡旋すべきではないかと感じる。 ○業者の求人像の明確化（求人票に工夫もしくは担当教師のリサーチ）と学生のやりたいことのマッチングの精度を上げてほしい。

【5. 学生支援】

評価平均：3.6

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○学生に対して公平、平等に対応している。 ○各担当だけでなく教員間で情報共有し、学習に関する支援を実施している。 ○学生への情報提供、個別相談等に加え、企業研究を通し就職活動を支援している。 ○各担任だけでなく教員間で情報共有し、相談に適切に対応できるよう努めている。 ○積極的に声掛けするなど、学生の学習面や健康面等の状況把握に努めている。 ○日本学生支援機構の奨学金や、授業料減免の規定により遺漏ないよう対応している。

○危機管理マニュアルを策定しているほか、保健室の設置、年度当初の健康診断、学校医との連携に加え、カウンセラーを配置し、相談に対応するなど適切に対応している。 ○紙媒体や学内への掲示のほか、随時一斉メール等により情報提供している。 ○自治会活動やクラブ活動において担当教員を選定し、適切に支援している。 ○必要に応じて保護者と連絡を取り、本人にとってより良い方へ向かうよう務めている。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○全体的に手厚い支援がなされていると感じました。 ○宝飾業界では年間を通じて複数のジュエリーフェアが開催されており、こうした場に積極的に行くことは、業界関係者との交流の機会となるだけでなく、最新の製品や素材、技術を直接見て学ぶ貴重な機会にもなるかと存じます。

【6. 教育環境】

評価平均：3. 8

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○設備は計画的に更新をできるよう、予算要求を行い教育上の必要性に応えることとしているが、予算化が困難な場合には、見直しを行い対応することとしている。 ○実習環境は現在のカリキュラムに対応できるよう整備されている。 ○図書室書籍の整理を進め、学生の利便性向上に貢献している。 ○教室は申請により授業外に開放しているほか、交流スペースではインターネット接続が可能な環境が整備されているなど、自主的な学習をサポートしている。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○図書室をはじめ充実しているものと感じます。

【7. 学生募集】

評価平均：3. 4

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○ホームページ、インスタグラム、学校案内、募集要項などにより広く情報提供するとともに、オープンキャンパスや学校訪問などにより周知を行っている。 ○担当職員（高校教員 0B）が学校訪問を実施し、本校の実績等の情報を提供するほか、各学校の合同説明会に参加するなど、情報の提供を行っている。 ○6月に全国のデザイン系、美術系、総合学科の高校（約700校）への学校案内等を送付しているほか、長野県・静岡県の高校へは随時イベント等の情報提供に加え、今年度は、群馬県・栃木県内の美術・デザイン系学科を持つ高校を訪問し

募集活動を行った。 ○（学校案内は）学習の流れから講師陣、施設設備、ライフスタイルなど、学生が必要とする情報を毎年工夫しながら掲載している。 ○本年度は、実技体験を含むオープンキャンパス5回、リモート説明会3回、合同説明会、個別の学校案内などにより、本校受験の契機となるよう努めた。3月にもオープンキャンパス等を予定している。 ○資格取得等の情報はオープンキャンパスを初めとする募集活動において提供している。 ○（オープンキャンパスは）高校の進路指導の時期等を勘案する中で、実施可能な回数を設定している。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○群馬県・栃木県の高校訪問を行うなど新たな試みを積極的にするなど、ご苦労されている様子がうかがえます。 ○宝飾業界は地場産業であり、山梨県は日本の宝石業界を牽引していくための人材を育成しているといっても過言ではないと思います。山梨のジュエリー産業の魅力の発信源になることは、学生募集に直接つながるように感じます。今後も山梨の産業として全国・全世界へアピールしてほしいと思います。

【8. 法令等の遵守】

評価平均：4.0

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○関係法令、専修学校設置基準等を遵守し学校運営を行っている。 ○個人情報保護に関する法令等を教職員へ周知し、遵守し対応している。 ○自己評価を実施し、結果をホームページで公表している。 ○外部関係者による学校関係者評価を実施している。
学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案
○特に問題ないと感じました。

【9 社会貢献・地域貢献】

評価平均：3.4

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価
○夜間講座の見直しを検討している。 ○韮祭りや宝美祭への地域商店街代表、地元百貨店の代表、山梨中央銀行の代表、ジュエリー協会・水晶美術彫刻組合の代表、甲府商工会議所などからの参加などがあった。

- 山梨中央銀行本店北側の展示スペースに展示をするなどの取り組みを行っている。
- 休憩時間、部活動、来客対応など幅広く活用されている。
- ボランティア活動を奨励している。

学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案

- 身につけた技術を活かしてボランティア活動ができれば、学生にとってもやり甲斐を感じるだろうし、地域の方々へのPR効果も期待できるのではないのでしょうか。学生のボランティア活動の奨励に向けた取り組みに少し物足りなさを感じます。
- 夜間講座を継続するのであれば、誰のために、どのような内容を行うことが良いのかリサーチして、効果のある形にしなければいけないと思います